

いちのせきから ストップ温暖化

eco
第14号

発行
一関地球温暖化対策地域協議会(IEL)
平成25年3月15日

寒さに凍える冬、それでも北極の氷は融け続けている。



※気象庁ホームページより

日本国土の10倍の氷が消失 ……………

北極の氷は毎年9月中旬に一番小さくなります。1980年には750万km²を超えていましたし、12年前の2000年にはまだ、600万km²ありました。それが、昨年9月13日には342万km²と急減して、1980年の半分以下、過去最少になりました。日本の国土面積の10倍以上の氷が32年間で消失したことになります。とりわけ2006年以降、面積で急激な減りようですが、それに伴って厚さも薄くなっています。明らかに温暖化が進行していると判断されます。

氷が融けて…日本が寒く? ……………

5、6年前は暖冬で真冬日がほとんどなく、温暖化が進行していると誰もが感じていました。しかし、今年の冬はかなりの寒さで雪も積もり、昨年はそれ以上に厳しい寒さだったと記憶している方も多いことでしょう。

日本が寒いのは地球の寒冷化の影響と考えがちですが、逆の見方があるようです。バレンツ海の氷が冬でも融けたままのため風の通り道が以前に比べ北極点に近づき、その分シベリア寒気団が大きく発達して、日本にも寒気が流れ込むという図式のようなのです。どうやら、温暖化は地球上どこでも一様に進むことにならないのです。

世界で頻発する異常気象 ……………

昨年のお盆過ぎを思い出しましょう。北海道と東北では雨の降らない猛烈な暑さが1ヶ月続きました。平年の気温に比べ8月下旬で3.5℃、9月上旬で3.1℃、9月中旬ではなんと5.5℃高く、いずれも過去52年間の観測統計史上第1位を記録した異常気象でした。

昨年夏、米国中西部では高温・少雨が続きました。多くの地点で平年より3～4℃高く、雨の量も平年に比べ半分以下の地点が多くあり、干ばつとなりました。

また、今年の年初、オーストラリア南東部では気温が45℃にも達し、風も強く最悪の火災が発生しました。

そして、日本近海では1月16日南岸低気圧が猛烈に発達し、940ヘクトパスカルと台風以上の強さになって、北海道東方海上へ抜けました。爆弾低気圧の発生頻度が高くなっています。

IELからのメッセージ ……………

気温などをいう時「平年に比べ」という言い方があります。この「平年」の基準値が2011年5月に改訂されて、それ以前に比べ日本全体では気温が0.3℃程高くなり、降雪量も日本海側の多くの地点で10%以上減っています。これまでの1971～2000年の平均値から1981～2010年の平均値に10年新しくなったためです。新しくなった一関の平年値では、日平均気温が年間でやはり0.3℃上昇し、日最高気温は夏には0.9℃上昇しています。

また、最近のテレビ報道によれば、南極大陸の地表面の45%は海水面より低く、大陸の廻りの氷床が一旦融け始めて海水が流入すると一気に崩落が進むと予想されていました。その場合には海水面が急激に上昇します。

そして、世界各国の取り組みの停滞や異常気象の頻発から、「もはや時間切れか?」と心配する識者の言葉を耳にすることがあります。それでも、地球温暖化を防ぐための努力を続けていくべきではないでしょうか。

なぜならこの美しく恵み豊かな地球を、次世代に引き継いでいく責任が私たちにはあるからです。



太陽光発電…これがホントの生の声!

平成22,23年度に市の補助金を受けて太陽光発電を導入した方(76人中38人より回答)からのアンケートです。

Q 導入のきっかけは?(上位3つまで回答)

- 自家消費および余剰電力の売電により電気代の節約 (36人)
- 温室効果ガスの削減、地球温暖化防止、環境保全 (24人)
- 自然エネルギーに興味 (19人)

Q 業者の選定はどのようにしましたか?

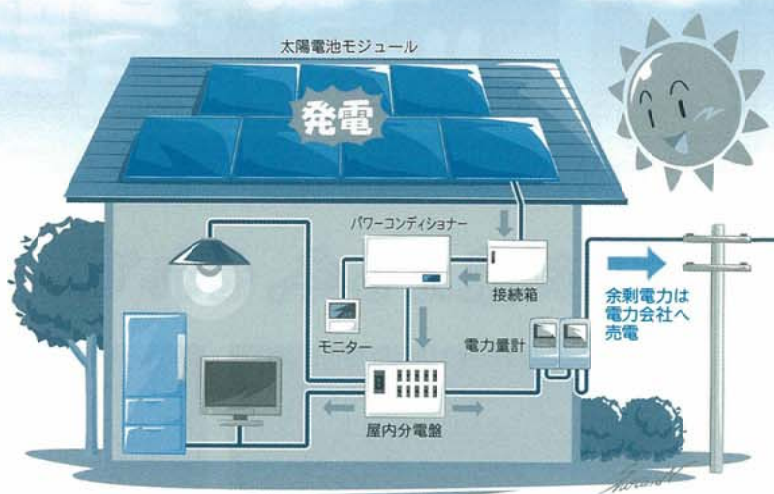
- 地元に施工できる業者がいたので決めた (11人)
- 情報収集して自分で選んで決めた (10人)
- 業者の勧誘で決めた (8人)

Q 年間の発電量について

- 最大出力は?
 - 2.8~9.9kW(平均4.65kW)
- 年間発電量は?
 - 平均4,970kWh
- 年間売電量は?
 - 平均3,390kWh
- 発電量に占める売電比率は平均67%
- 年間買電量は?
 - 平均8,832kWh(注:オール電化を採用している方が多いため消費量が多い)
- 年間自家消費電力量は?
 - 平均1,285kWh

Q 導入後の感想は

- よかったと思う点は?
 - 節電になった (15人)
 - 温暖化対策に貢献していると実感 (5人)
 - 停電や災害時に役立つと思った (4人)
- 経済的メリットは?
 - 電気代が安くなった (13人)
 - 思ったほどでもない。設置費が高すぎた (10人)
- 不安はありますか?
 - 耐用年数、保証期間経過後の維持管理費 (15人)
 - 今後の買い取り制度への不安 (5人)
- 失敗したなと思うことは?
 - 積雪時発電しないこと (7人)
 - 容量を大きくすべきだった (3人)
 - 傾斜、方角を検討すべきだった (3人)



Q 今後導入を考えている方へのアドバイスを?

- 積雪対策と設置傾斜、方角をよく検討して (5人)
- 容量はできるだけ大きくしたほうが良い (3人)
- 経済面をよく考慮してから (3人)

他に「屋根の寿命を考えて」「住宅の新築と合わせて導入をすすめる」「悪徳業者に注意」など

当協議会からのアドバイス

業者からのしつこい勧誘や「とにかく儲かるらしい」などのふれこみには注意しましょう。

高額費用なので導入に際しては、家族で話し合いましょ。

知っているかな? メリットは

- CO₂を排出しないクリーンで無尽蔵なエネルギーだということ。
- モニターで発電量、売電量、買電量、消費電量が一目でわかり、節電意識が高くなる。



- 発電している日中の電気は自家消費となり、余った電気は買い取ってもらえる。
- 耐用年数が20～30年。メーカーの保証期間がほぼ10年とシステムの寿命が長く、メンテナンスが比較的簡単。

デメリットは

- 設置費用がまだまだ高い。容量1kWあたり約50万円。
- 天候に左右され発電量が一定しない。また積雪時は発電しない。



※積雪によって発電量が低下している状態

アドバイス

太陽光発電の仕組みを知っておきましょう。

- パネルの方角や傾斜によって発電効率に差が出ます(傾斜角30%、方角は真南で発電効率100%となります)。
- 建物や木の陰では発電しにくいなども考慮しなければなりません。そのうえで、自宅の屋根の面積、方角や傾斜を確認します。
- 実際に設置している方の生の声を聞くことも大事です。
- 複数の業者から見積もりをとり、事前調査をしっかりと行ってもらいましょう。
- 取り扱っているメーカーの特徴や屋根の形状、工法の説明、補助金の申請や電力会社との連絡などきちんと細部まで行ってくれる、できれば地元の業者を選定しましょう。

利用できる補助金は…

国		岩手県	一関市
システム価格 47.5万円以下	35,000円	48,000円 ※被災家屋のみ	20,000円
システム価格 47.5～55万円	30,000円		

(平成24年度、1kWに対し いずれも出力10kW未満)

太陽光発電導入者 「生の声を聞く会」を開催します。

太陽光発電システムを取り付けてみた方々が「実際のところ」を皆さんにお話して理解を深めていただく会を開きます。いままで花泉や千厩地域で開催していましたが、ご要望が多く、今回一関地域で開催することになりました。

また、一関市から補助制度などについての情報提供も行いますので、お気軽に来て下さい。



※千厩での様子

- ◆日 時 平成25年3月17日(日)
午後1時から(午後4時頃終了予定)
- ◆場 所 一関市総合体育館(ユードーム)会議室2、3
- ◆主 催 一関地球温暖化対策地域協議会
- ◆内 容 生の声、失敗事例発表など
- ◆申込み 生活環境課(21-8342)へ
お申込みください。

タイムスケジュール

- ① 太陽観察 13:00～13:25
- ② 失敗事例の発表 13:30～14:15
- ③ 導入者の生の声 14:20～15:45
- ④ 太陽光発電導入に係る補助制度などについて 15:50～16:00



クリーンアップウィーク参加状況(一関駅清掃)

当社は1931年創立以来、一関市を基盤に電気設備、電気通信、消防施設に関わる設計・施工・保守・点検等、幅広く対応しております。

2007年1月に「エコアクション21」を取得し「いわて地球環境にやさしい事業所 三つ星」として認定されました。

環境方針として「社員一丸となって電気設備関連工事の設計・施工における事業活動を通じ地域社会の環境保全に寄与し、次世代により美しい自然環境を引き継ぐべく努力する。」を掲げ活動した結果、先日の更新の際には本社:三つ星、盛岡支店:四つ星として認定されました。

環境に携わる活動として、照明における省エネのご提案を基に、省電力システムの紹介などを行っているほか、会社近隣及び現場事務所周辺の清掃、顧客先での植樹、照明器具清掃や地域環境活動への参加などを行っております。

【問い合わせ先】(株)金澤電気工業所 一関市桜木町6番12号

☎23-5200

「自然エネルギー見学会」を開催

10月18日、自然エネルギーを実際に体感しようと当協議会が主催し、「自然エネルギー見学会」を開催しました。

当日は、市内や平泉町から24名が参加し、バスで一関市総合体育館をスタートし、次の4か所を見学しました。



「薪ストーブ」

～陣の里

薪ストーブを導入している陶工房「陣の里」(滝沢字寺田下85-1)で、菅原仁さんから、薪の調達や保管、煙突清掃などの説明を受けました。



「太陽光発電」

～平泉駅

平泉駅は、太陽光発電(78kW)蓄電池(240kW)やLED照明などを導入し「エコステーション」を実施しています。



「木質バイオマス発電」

～黒滝温泉

黒滝温泉では、「木質バイオマスガス化コージェネレーションシステム」を導入し、木質チップとバイオディーゼル燃料(BDF)活用した発電を行っています。



「小水力発電」

～照井土地改良区

照井土地改良区では、赤荻字雲南地内の水路を活用し小水力発電(50kW)を行っています。

バイオディーゼル燃料(BDF)を使ってみませんか?

バイオディーゼル燃料は軽油より1ℓ当り約25円安く、二酸化炭素排出量も大幅に削減できるなど、環境に優しい燃料です。市役所のトラックや幼稚園の送迎バスにも使用されています。

バイオディーゼル燃料は市内の飲食店や市民の皆さんからの使用済みてんぷら油を基に作られています。次世代を担う子供たちに胸を張ってパトントッチできる環境づくりのためにも、是非一度使ってみて下さい。

もう油の凝固剤はいりません!



①家庭で使用済みとなった油を、ペットボトルなどの容器に濾して入れる。(容器は十分に水を切って)

持参した容器は再利用!



いちのせき eco油田開発 プロジェクト

②回収場所に持参。一関市役所では専用回収容器(ポリタンク)に移し替えます。



三酸化炭素の排出を抑制!

④バイオディーゼル燃料を給油した車がまちを走ります。

廃油10ℓから
およそ9ℓ分の燃料を精製!



③集めた食用廃油を回収。添加物を加え、軽油代替燃料(バイオディーゼル燃料)に生まれ変わる。

興味を持たれた方は、

【問合せ先】(株)バイオエスコート 担当 佐藤(携帯)090-3980-6945

編集後記

7年ほど前から24時間風呂を使用しています。イオン洗浄と熱洗浄等により無色透明・無臭で清潔ですし、いつでも入浴が快適です。浴槽水交換は月に一度のペースにしていますから、川を汚す浴槽洗剤の使用は、毎日交換の

365分の12回で済みます。浴槽353杯分の節水等で、水道光熱費のトータルは減額になりました。太陽光発電と併用すれば、更にECOでしょうか。限りある水資源を大切に使いたいですね。
(伊藤京子)